

## 1. 評価結果概要表

### 【評価実施概要】

事業所番号	4070702107
法人名	株式会社 エルダースサービス
事業所名	グループホーム 折尾東
所在地 (電話番号)	福岡県北九州市八幡西区丸尾町6番22号 (電話) 093 - 695 - 1220

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	北九州市小倉北区紺屋町4 - 6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成21年10月7日	評価確定日	平成21年11月16日

【情報提供票より】(平成21年9月21日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	8人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.4人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造平屋造り 1階建ての1階部分
------	----------------------

#### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円	その他の経費(月額)	(水道光熱費)20,000円	
敷金	有(80,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,667円			

#### (4) 利用者の概要(9月21日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	0名		
要介護3	0名	要介護4	5名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	68歳	最高	90歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	古村内科循環器科クリニック / 新水巻病院 / たつのおとしごクリニック
---------	--------------------------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム折尾東は、利便性が高い街なかに位置し、周辺は閑静な住宅地となっている。400坪の広大な敷地の中、デイサービスを併設し、温泉付き浴場・リハビリ機器・パソコン・カラオケなどの設備が利用でき、入居者のアクティビティの充実を図っている。日々の暮らしの中では、地域とのふれあいを大切に日常的に地域の方が気軽に訪れる関係を育てている。入居者の居室は、これまでの暮らしをそのままグループホームに移行した様に空間づくりに工夫があり、それぞれの居室が自宅の様なくつろげる空間となっている。これはグループホーム折尾東の、入居者の目線に立ったケアやサービスのあり方を追求してきた成果の一つであるといえる。管理者・職員は、これまでの暮らしを尊重し、入居者本位のケアやサービス提供に努め、それはグループホーム折尾東の和やかな雰囲気と入居者の笑顔に集約されている。今後は更に折尾地区の高齢者ケア拠点としての活動に期待したい。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域密着型サービスとして、地域とのふれあいに力を注いできており、その活動は年々充実してきた。今年度は、これまでの実績をふまえ、理念への反映を行っている。また、薬の副作用など周知徹底を図り、薬に関する効果を認識できるように取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ミーティングや定例会で自己評価を配布し、職員の自己評価に関する認識を高め、話し合いながら自己評価を作成している。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は定期的に2ヶ月に1回開催している。会議は家族の参加もあり、活発な意見交換を行い、地域の実情や行事などの情報把握や新型インフルエンザ対策など、状況に応じたテーマ設定で話し合いを行っている。会議で出された意見は積極的に運営面に活かしていくなど取り組んでいる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)
	家族会があり、運営推進会議後に開催している。運営推進会議においても家族の参加があり、家族の要望や意向を把握する機会としてとらえ、家族が思うことを言っていたできるように働きかけている。運営推進会議の開催日程は、家族が参加できるスケジュールを優先し、家族との良好なコミュニケーションが取れるように努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、組長としての実績があり、地域の一員としての役割を果たしている。地域行事(盆踊り・どんと焼きなど)に積極的に参加し、市民センターや中学校の行事にも参加している。定期的に生花教室や大正琴の演奏などボランティアが訪れ、入居者との交流・ふれあいの機会もつづけている。今後は、更に地域における高齢者ケア拠点としての活動に期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	母体法人の理念を基に、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げており、また「自分らしさ」の実現に向けた支援を、運営方針として定めている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	理念は玄関入り口に掲示している。理念の共有化を図るために、ミーティングや定例会で、理念に基づき個別のケアやサービスの充実を図るように意識づけている。日々の業務の中で「気づきと思いやり」の精神を活かし、実践に向けて具体的に話し合っている。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	町内会に加入し、組長としての実績があり、地域の一員としての役割を果たしている。地域行事(盆踊り・どんと焼きなど)に積極的に参加し、市民センターや中学校の行事にも参加している。定期的に生花教室や大正琴の演奏などボランティアが訪れ、入居者との交流・ふれあいの機会もつくっている。今後は、更に地域における高齢者ケア拠点としての活動に期待したい。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	今年で6回目の外部評価となり、法人内の他グループホームの詳細な情報を職員に提供している。広い視野から評価結果を客観的に認識し、評価の機会を積極的に活かしている。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	会議は定期的に2ヶ月に1回開催している。家族の参加があり、活発な意見交換を行い、地域の実情や行事などの情報把握や新型インフルエンザ対策など状況に応じたテーマで話し合いを行っている。会議で出された意見は積極的に運営面に活かしていくなど取り組んでいる。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

## グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	北九州市の担当課とは情報交換を行い連携を図っている。また、市の事業として自治会に対して行う「家庭介護教室」の年2回の受託や、月2回の介護相談員の受け入れなど積極的な連携が行なわれている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	法人内に4つのグループホームがあり、権利擁護に関する制度を活用している方がおり、活用に向けての支援体制を構築している。また、北九州市社会福祉研修所の研修に参加し、制度への理解を高めている。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	定期的に月1回、家族に生活状況・健康状態・金銭管理・利用料などを報告している。その中には職員の手書きの手紙も添えている。また、入居者の居室には、ホームでの暮らしがわかるアルバムが置かれ、家族はアルバムによって入居者の状況がわかるようになっている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	家族会があり、運営推進会議後に開催している。運営推進会議においても家族の参加があり、家族の要望や意向を把握する機会としてとらえ、家族が思うことを言っていたけように働きかけている。運営推進会議の開催日程は、家族が参加できるスケジュールを優先し、家族との良好なコミュニケーションが取れるように努力している。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	法人内で多数の高齢者ケア事業を展開しており、職員の意向や能力にそって、法人内の人事異動はあるが、その際には管理者・職員でサポート体制を築き、入居者を支えている。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の採用は、年齢・性別などで排除することはない。法人として職員が生き活きと働けるように、研修参加や資格取得への支援を行っている。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

## グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	外部研修に積極的に参加し伝達講習を行い、人権に対する意識を高めている。特に個々の言葉使いに注意し、入居者の呼び方も家族の方に確認するなど、入居者の人権を尊重したケアやサービスが提供できるように取り組んでいる。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	年間の研修計画があり、法人全体として、また、法人内の4ヶ所のグループホームで定期的に研修会を開催している。また、ホーム同士の相互の訪問を通して、交流や情報交換を行っている。職員のスキルアップを高めるために職員研修を全面的に支援し、勤務ローテーションを調整するなどバックアップしている。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	周辺地域のグループホームと交流や情報交換を行っている。今後は地域によって共通した問題や高齢者環境の特色があるため、地域包括支援センターの協力を得て、地域の事業所間の連絡会を開催するなど定期的な交流が期待される。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	入所前にホーム見学や併設のデイサービスを利用して、少しずつ馴染んでいただいている。入所前までに計画を立てておき、職員が一貫性のある対応ができるように準備している。入所後は少数人で関わり、まず、所長が面談し、ケアマネジャーと連携し馴染みの関係づくり、職員へと広がっていくように体制を整えている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	「これ干すのね・洗おうか・たたむよ」など、普段の何気ない言葉かけにより、入居者の力が発揮できる機会をつくり、お互いに「ありがとう」と伝え合う関係を築いている。職員は日々の入居者との会話の中で励ましていただいたり、元気をいただいたり、暮らしを共に支えている意識が高い。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>新規のアセスメント情報収集のソフトを取り入れ、きめ細かな情報から本人の意向や思いを抽出している。「ミーティングシート」は日々の関わりの中から、入居者の状態が把握できるように工夫され、職員の情報の共有化に効果を発揮している。ケース会議では、入居者の行動について評価・分析を行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向を把握し、看護師・担当職員など関係者と話し合い、到達可能な計画が作成されている。医療者の立場から看護計画も作成されているが、問題点・ニーズは疾病があるだけでなく、日々の生活での観察点や注意事項などにつながるように具体的に表示していくことにも期待したい。</p>		
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月モニタリングを行い、短期目標が達成できているか、効果を検討している。総合評価を行い、サービス内容を検討し、適切なサービスかどうかなど見直しを行っている。また、状態変化が生じた場合の見直しも行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>地域や併設しているデイサービス・法人関係の医療機関などとの連携により多彩な機能をサービスとして提供している。また、個別に「お餅が食べたい、家族から健康補助食品を摂らせたい、温泉に行きたい、外食したい」など要望があれば家族と相談しながら支援している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・家族などの同意を得て、協力医による1ヶ月毎に往診が行われている。歯科は1週間に1回の受診がある。急変時は早急に受診していただくなど、24時間の医療体制により安全・安心な体制を築いている。毎日のバイタルサインが記載され、かかりつけ医に詳細に状態報告ができるようになっている。</p>		

グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	医療連携を取っており、「看取りに関する指針」を定めている。また、「看取り介護についての同意書」を作成しており、ホームの姿勢が示されている。重度の入居者を介護されている現状があり、かかりつけ医や家族と話し合っ方針を立て支援している。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	人生の先輩である入居者への尊敬の気持ちを持ち、特にプライバシーに配慮した言葉使い、笑顔とやさしく対応することを心がけている。「親しき仲にも礼儀あり」を周知徹底し、入居者を尊重したケアやサービス提供に努めている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	基本的な1日の流れはあるが、入居者一人ひとりが「何を望み、どういう暮らしをしたいのか」を把握し、その実現に向けて支援している。調査当日は、編み物を楽しんでおられた入居者がおり、機能維持に考慮しながら、本人が望む暮らしができるように取り組んでいる。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	隣接したデイサービスと併用の厨房で調理する為、細かく入居者の好みの状態に配慮した食事を提供している。職員は入居者と共に食事をしながら、目の前の食事の食材・調理法・味付け・盛り付けなどを話題にしている。時には外食やドライブ時におやつを買ったりなど楽しんでいただいている。下膳や片づけも一緒に行っている。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	週3～4回の入浴を基本にしている。本人の希望で入浴日や時間帯などは柔軟に対応している。個浴でゆったりと話しながら、入浴を楽しんでいただけのように支援している。調査当日も入浴の好きな方がおられ、入居者の思いにそって、ゆったりと入浴を楽しまれていた。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	毎日の暮らしの中で、食器の片づけ・掃除・洗濯物たたみ・草取り・水やりなど役割を果たしていただいている。新規ソフトによるアセスメント収集やミーティングシートにより、個別の楽しみごとや役割を把握している。趣味である編み物に熱中する方や洋服の組み合わせでお洒落を楽しむ方・昔馴染みのお友達とお喋りが待ち遠しい方など、それぞれの過ごし方を支援している。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	日課として散歩や日当たりの良いホームの前庭で外気浴を楽しんでいただけるように支援している。また、美術館や写真館・作品展や地域行事に参加するなど外出の機会を多く取り入れ、希望に応じて個別での外出も支援している。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	日中は自由に出入りができるように職員が見守り、玄関の鍵はかけないケアを行っている。玄関には外部からの出入り口とフロアに続く出入り口の2つのドアがあり、チャイムを設置し、開閉の音にすぐに対応できるようになっている。入居者が出かける場合は、付き添うように支援している。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	年2回の防災訓練を行っている。昼夜を問わず入居者が安全に避難できるように訓練している。運営推進会議を通して、自治会や近隣の方に災害時の協力を働きかけている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	法人の管理栄養士・料理長のサポートがあり、栄養摂取量・栄養バランスが取れた料理を提供している。食事の量や形態も個別に対応し、水分量も注意している。水分量が中々取れない方には、好みの飲み物を準備したり、飲みやすくトロミをつけるなど工夫している。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

## グループホーム 折尾東

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	リビングは高い天井とシックな色彩の床と壁でしっかりと落ち着いた空間となっている。対面式の厨房はカフェのような明るく楽しい造りとなっている。テーブルや棚には季節の花がさり気なく飾られている。入居者は、それぞれお気に入りの椅子やソファで居心地よく過ごされている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	使い慣れた家具が持ち込まれ、時計をたくさん置いた居室や、趣味の作品を活かした飾り付けの居室・お気に入りの洋服を並べてある居室など、入居者の好みや暮らし方を尊重した個性あふれる居室となっている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			